

第3回 枚方市バリアフリー推進協議会 議事録

日 時:平成29年1月25日(水)午後2時30分～午後4時30分

場 所:枚方市市民会館1階 第1・第2集会室

1. 枚方市バリアフリー基本構想における中間検証の概要について

- ・枚方市バリアフリー基本構想における中間検証の概要の説明

2. 主な意見等

- (アド) 枚方市駅周辺のアンケートの結果から、基本構想に基づき整備した道路以外についても今後整備が求められているとの説明であったが、基本構想に位置付けのある道路整備をまずは優先させるべきではないか。
- (事) 枚方市駅周辺地区ではアンケート調査と現地調査を実施しており、その結果に差異が生じている要因を示したかった。バリアフリー化事業においては、基本構想に位置付けのある地区でまだ整備が進んでいないところから優先的に進めていく必要があると考えている。
- (委員) 現地調査の評価で、「タッチパネル式は視覚障害者が使いづらい」と記述しているが、「視覚障害者は使えない」と改めてほしい。
- (アド) タッチパネル式の券売機については、弱視の視覚障害者の方にとっては「使いづらい」という表記があてはまるので、併記してはどうか。
- (委員) 点字ブロックの割れ、放置自転車への対策として「管理者による日常の点検」としている。市内各地区の道路において、誘導ブロックの欠損が多く見られるが、誰が、どのような点検を行っているか教えてほしい。
- (事) 道路については各道路管理者が点検および維持管理を行っている。市道については枚方市で市域市道全体の一斉点検を年2回実施している。その際に誘導ブロックの欠損等があればその都度、対応している。

3. その他

○第1回枚方市バリアフリー推進協議会の議事録の確認

※議事録の内容、報告内容について意見なし

※議事録を最終版として市のホームページで公表することを確認

○第1回協議会での質疑にあった意見の対応について報告

- ・関西医大前交差点とラポール枚方前の歩行者用音声信号が聞き取りづらいという意見について、信号の機能が損なわれない範囲で調整を行った。それにより、両方の音響が明確に聞き取れるように改善された。
- ・サブリ村野出入口前の歩道が高く、横断勾配が急であるという意見について、部分的ではあるが段差をなくし、現況の高さへのすりつけ勾配を緩やかにすることで改善を図った。村野駅北側の歩道についても段差があるが、3月までに解消することを予定している。今後も改善できるところから整備を行っていく。

○ その他の意見等

- (委員) トイレへの誘導については、触地図板の設置より、トイレ入口までの誘導ブロックの設置と音声案内が欲しい。
- (アド) 移動円滑化ガイドラインに「トイレの触地図板までの誘導ブロックの設置」が位置付けられている。ただし、実際のトイレの利用しやすさを考えると、触地図はあまり使われておらず、触地図までの誘導ではそれほど有効ではないという意見もあり、ガイドラインの見直しも、今後、検討されるのではないかと。
- (委員) 最近ではトイレの機能が複雑になってきており、トイレの流すボタンの位置がわからないことがある。流すボタン等、基本的な操作が分かるようにして欲しい。
- (アド) 多目的トイレはJIS規格でボタンの位置などが決められているが、実際はJIS規格に沿っていないものも多数設置されている。参考までに、近年では、音声案内で個室内の案内を行うシステムの開発が進んでおり、導入が検討されているところもあると聞いている。
- (委員) 枚方市駅東口のエレベーターは狭く、介助者が同乗することができないため、大型化することはできないか。また、多目的トイレは様々な方が利用するため、車いす利用者など、本当に必要とする方が使えない施設となっている。増設等できないか。
- (委員) 枚方市駅において、エレベーターや多目的トイレの課題があることは把握しているが、駅の構造上、エレベーターの大型化、多目的トイレの増設を実施することは難しい。
- (委員) 宮之阪駅前の歩道は高さが20センチメートルほどあり、勾配が急で車いす利用者にとっては利用しづらい。歩道の改良ができないか。

(事) 宮之阪駅周辺は枚方市バリアフリー基本構想の重点整備地区に位置付けられているが、道路特定事業計画が未策定となっている。今後、事業計画を策定し事業を進めていく路線である。

(委員) 全国的に、駅ホームの転落事故の対策が進んでいる。枚方市駅は9万人以上の乗降客が利用する駅であるが、駅の現状の課題をどう認識されているか。

(委員) 中之島線、京阪本線については、扉位置が異なる様々な車両形式があることや、設置によってホームの幅員が減少することなどにより、ホームドア・可動式ホーム柵の設置には多くの課題がある。したがって、ホームドアの開発状況や他社での設置状況を踏まえ、今後も引き続き調査・検討していく。

国土交通省がホーム柵設置の方針を出している乗降客数10万人以上の対象駅は、京阪では京橋駅だけであるが、駅ホームにおける安全向上のため枚方市駅についても、検討していく必要があると認識している。

(アド) ホーム柵の設置については、費用や構造面の課題からすぐには導入ができない所も多いため、駅員による注意喚起など、ソフト面の対策も合わせて進めてほしい。

(委員) 駅の転落防止対策については、国からも視覚障害者への見守りや声かけが重要であるということが呼びかけられている。駅員の少ない駅もあるので、駅構内でのマイク放送などで歩きスマホへの注意や視覚障害者を気にかけるなどの啓発を実施できないか。

(アド) 駅においては、視覚障害者への注意喚起についての啓発活動をぜひ実施してもらいたい。

(委員) バリアフリーの整備については鉄道事業者だけが負担するのではなく、市が整備に対する補助を行うべきではないか。

(事) 市では、これまでも鉄道駅等のバリアフリー化に対して、国の補助金等と併せてバリアフリー化設備に対する補助を行っている。

(委員) 中央改札口と東改札口を結ぶ改札内の通路の階段にスロープ設置ができないのか。車いすを押して上がれる最低限のスロープを設置していただけるとありがたい。

(委員) スロープの設置については、駅の構造上難しい。

(委員) 市民会館のトイレには片方にも手すりが付いていない。公共の施設であるので対応する必要があると考える。

(事) 市民会館のトイレの手すりについては、バリアフリー基本構想に位置づけはないが、必要性は理解できる。

(委員) 牧野駅から府道京都守口線へ出て大阪方面に左折した区間について、歩道の中心付近に電柱が立っており、車いすで通行ができないため、車道に降りて通行することになる。電柱の位置を変えることはできないか。

(委員) 電柱の移設ができるかどうか、現地を確認してから対応を検討する。

(委員) 牧野駅周辺のレストランにおいて入口のスロープに手すりがなく、せめて片方だけでも手すりを設置してほしいと何度も要望をしているが、改善されない。民間の施設であるので市からはたらきかけるのは難しいかもしれないが、せめてバリアフリー化を呼びかけることができないか。

(委員) 商業施設などにおいて、視覚障害者誘導ブロックの色彩が変わっており、認識しづらいという意見があがっている。民間施設への指導や啓発を行ってほしい。

(委員) 平成 28 年 4 月に障害者差別解消法が施行され、民間の施設についても、努力義務ではあるが障害者が利用できるよう、合理的配慮を行うことが求められている。市民への啓発については、市の広報 12 月号でも掲載しているが、今後も周知啓発に努めていく。

※ (委員) : 当事者・管理者・事業者等

(アド) : アドバイザー (学識経験者)

(事) : 事務局